

## フィルム市場向け 小型恒温恒湿空調機のご提案

### 標準状態を手軽に実現

フィルムは吸湿温度依存性の影響が大きい素材です。これらの材料に様々な試験を実施し、物性の基準値を得るためには標準状態(23℃/50%RH)の確保は必須となります。

既存の恒温恒湿槽ではフットプリントやスペックがオーバーであったり、装置の稼働に多大な費用が掛かってしまう…というような悩みが尽きません。そこで今回、フィルム・紙市場に対応する省エネ・コンパクトかつ高精度な小型恒温恒湿空調機ラボエースミニをご紹介します。

### 特徴

#### ● 高精度な温湿度制御

温度 $\pm 1^{\circ}\text{C}$ 、湿度 $\pm 3\% \text{RH}$ の高い安定性を実現。試料を標準状態で平衡化します。

#### ● オールフレッシュと循環の2Way方式

吹き出し口と吸い込み口を用意。ワンパス(オールフレッシュ)での使用の他、付属のダクト2本をワークに接続し空気を循環させることでより高精度な温湿度管理を実現します。

#### ● 省スペースのコンパクト設計

コンパクトな設計で作業スペースを選ばず、ワークオペレート傍に設置が可能です。

※外形寸法：W370×D600×H688

#### ● 省エネ設計

電源は100V15Aのコンセント仕様で電気工事等を必要としません。



## 標準状態を必要とするフィルム試験事例

規格	調整条件	試験概要
JIS K 7127 引張り測定試験	23℃±2℃ 50±5%RH	フィルム・シートの最も基本的な試験規格。試験片を標準状態にて一定時間調整してから試験を行う。
JIS K 7136 光学特性試験	23℃±2℃ 50±5%RH	フィルムの光学特性(透過率や曇り度)を測定するための規格。測定前に試料を標準状態で調整する必要がある。
JIS K 7100 熱収縮試験	23℃±2℃ 50±5%RH	プラスチックフィルムやシートの熱による収縮特性を測定する規格。包装材やラップフィルム、熱収縮チューブの評価に適用される。

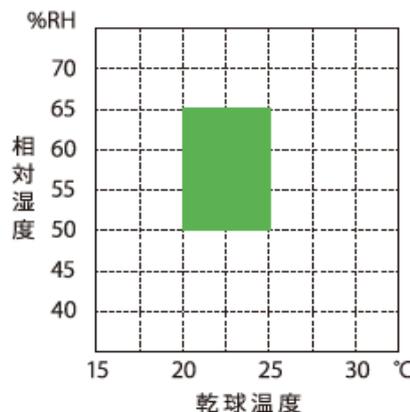
## 小型恒温恒湿空調機 仕様

### LABO ACE mini

#### 仕様 MB型空調ユニット ラボエースミニ (空冷式)

型式	MBH-150
温湿度範囲	+15℃～+30℃ 50%RH～65%RH
温湿度変動幅	±1.0℃ / ±3.0%RH
外形寸法	W370×D600×H688
温湿度調節計	デジタルコントローラー・PID制御
センサー	温度:白金測温抵抗体 湿度:高分子薄膜
風量	1.0 m <sup>3</sup> /min
電源	AC100V 50/60Hz 電圧許容範囲±10%
最大消費電流	13.5 A
最大加湿量	0.5 L/h
排水	排水タンク 4L

【温湿度制御範囲】



● 温湿度は循環運転で周囲環境 25℃におけるものです。周囲環境により温湿度範囲は制約を受けます。

## アプリケーション

- 万能材料試験機 (高吸湿物質の含水率安定化)
- OTR測定機 (温湿度による透過度・材料特性の変化の抑制)
- 剥離試験治具 (温湿度による伸び・破れ強度変化の抑制)

\* 仕様の詳細につきましては、カタログ情報をご確認ください。

\* ご不明点は営業担当者までお問い合わせください。



## エスパックサーマルテックシステム株式会社

本社 住所: 埼玉県戸田市美女木東 1-2-15

TEL: 048-423-1800 FAX: 048-423-1801

神戸事業所 住所: 兵庫県神戸市東灘区御影石町 1-6-6

TEL: 078-856-5181 FAX: 078-856-5186

- 各営業所へお問い合わせください。
- 本リーフレットに掲載のサンプルはイメージです。
- 製品の改良・改善のため、仕様および外観、その他を予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。